

どろんこバレー オフィシャルルール

はなわふれあいスポーツクラブ

1. プレーヤーについて

- ① プレーヤーはどろんこバレーのルールを把握して参加すること。
- ② 1チームの競技者は4名とする。ただし、女性のみで構成する場合のみ5名までとする。
- ③ チームを構成するメンバーは、年齢を問わない。ただし、小学生以下のみで参加する場合には、少なくとも1名の保護者が同伴すること。
- ④ フェアプレーの精神で、審判、関係者、チームメイト、相手チーム、そして観客に敬意をもって礼儀正しく振舞うこと。試合中、審判や対戦相手などに暴言、故意的に試合の進行を妨害する行為はしないこと。
- ⑤ プレーヤーは、田植え長靴等の履物や、膝・ひじのサポーター等を着用し、ケガの防止に努めること。また、スパイクや金属等の入ったシューズ及びアクセサリー等の着用を禁止する。

2. コート・ネットについて

- ① コートのサイズは、長方形の12m×8mとする。
- ② アタックラインと、センターラインはない。
- ③ サービスゾーンは、コート・エンドラインの後ろ、サイドラインの間とする。
- ④ ネットはダリアネットを使用する。
- ⑤ ネットの高さは、230cmとする（225cm～235cmの範囲内で設置する）。
- ⑥ ボールはレクリエーションバレーボールを使用する。
- ⑦ 内気圧 100hPa～150hPaとする。

3. ゲームについて

- ① ラリーポイント制とする。
- ② 相手コートへスパイクやサービスを決めたときにポイントが入る。
- ③ 返球ミスや反則をした場合には、相手チームにポイントが入る。
- ④ 21点先取の1セットマッチとする。ただし、20対20の場合には、2点差がつかない限りはゲームを続ける。天領の部の予選リーグとかん吉の部については、15点先取の1セットマッチとする。
- ⑤ 相手コートへの返球回数は、最大3回とする（ボールがネットにあたった場合も、返球回数は最大3回とする。）。また、ボールは身体のどの部分に触れてもよい。

- ⑥ ボールのどの部分かがラインに触れていればインボールとみなされる。
- ⑦ ブロックタッチは、1回と数えない。
- ⑧ コート内でのポジションは自由とする。ただし、サービスが打たれるときはコートの中にいなければならない。
- ⑨ サービスのトスは1回とする。また、サービスはコート内でエンドラインに接した状態で打つこととする。
- ⑩ サービスの順番は間違えてはならない。また、サービス権が相手に移るまで同じプレーヤーが打ち続ける。
- ⑪ どろんこバレーでは、多少のホールディングは反則とならない。ただし接触中、明らかにそのボールの動きが停止するようなプレーは反則となる。
- ⑫ オーバーハンドパスでボールを相手コートに返球する場合には、両肩に直角である方向でなければダブルコンタクトの反則となる。ただし、セットアップの際、風などの影響で相手コートに入ってしまった場合は反則とみなされない。
- ⑬ ネットの下から相手コートへの侵入は、相手プレーヤーに触れたり、プレーを妨害したりしない限り反則とみなされない。
- ⑭ タイムアウトの要求は、キャプテンのみが行うことができる。
- ⑮ 審判に質疑する場合にも、キャプテンのみが行うことができる。また、試合中の審判の判断に対する質疑は、主張が強すぎたり、試合の中断になると見なされたりすると、相手チームにポイントが加算されることもある。
- ⑯ メンバーチェンジは、登録したメンバーとであれば誰とでも何回でもできることとする。ただし、ボールデッド時に審判に要求しなければならない。
- ⑰ 顔などにどろがついてプレーの妨げになる場合には、そのどろを落としてもよい。ただし、ラリーをとめたり、試合を中断しすぎたりしないようにすること。